

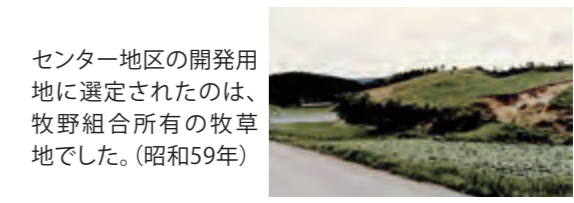
飯館村を形づくる個性豊かな20行政区を連載で紹介します

3区 伊丹沢行政区 vol.3

飯館村の中央部に位置する伊丹沢行政区。村役場、学校施設、スポーツ公園、クリニックなど、村民の生活を支える施設が集中する「センター地区」を擁する地域です。

昭和期は米作りが盛んで、タバコの生産や養蚕・畜産なども行われていました。また、昭和46年には、「生活改善モデル地区」に指定され、それを契機に「伊丹沢農事研究会」が発足。研究会は、土壌調査に基づく土づくりや栽培技術の研究、害虫防除などに、長期にわたり取り組みました。一方、老人会や若妻会などの地域活動も盛んに行われていました。

昭和59年には、第3次総合振興計画を策定中の村が、「センター地区整備懇談会」を立ち上げ、統合中学校（後の飯館中学校）やスポーツ施設の整備



センター地区の開発用地上に選定されたのは、牧野組合所有の牧草地でした。(昭和59年)



作物の品質向上や、土づくりなどに取り組んだ「伊丹沢農事研究会」。(昭和57年当時)

について検討を開始。その後、分散していた公共施設を集中して整備する「センター地区構想」が取りまとめられ、平成期にかけ、さまざまな施設が区内に整備されました。

震災による全村避難を経て、区は現在、地域みがきあげ計画なども活用して、花壇の植栽や地域美化の活動を続けています。令和5年から6年にかけては、鳥獣被害対策のモデル地区として、実証的な活動にも取り組みました。



震災後にスポーツ公園や学校施設が再整備されました。(平成30年)



「飯館復興三千本の桜」は区の笹ノ沢地区にあります。(令和8年)

伊丹沢行政区(3区)
区民数304人(令和8年6月1日現在/住基人口)

全村避難の時は心底落胆しました。しかしそこから15年が経過した現在、集落営農組合での作業には、若い人も参加をしてくれて、畦畔の草刈りなど担い手の支援も行っています。また、チェーンソー部隊ができ、支障木が出た時などに出動します。地区の高齢化は進んでいますが、その中でも、若い人とコミュニケーションを取りながら、区の活動を行っていきたくです。県道から役場に向かう道沿いに整備している自慢の花壇は今年もきれいにできました。パークゴルフの練習も毎月行っていて、秋には区長杯を開催。村民スポーツ大会にも出場します。



花井敬三区長



70周年 村制施行

いいたて 今昔物語

さまざまな場所や暮らしの変化を見てみよう。

飯館村役場 庁舎の今と昔



平成
新庁舎の完成は平成5年。庁舎左手に、同7年開店の「ほんの森いいたて」も写る航空写真。



令和
現在も大切に使われている庁舎。令和5年に正面玄関入り口のバリアフリー工事を行いました。



昭和

昭和35年、草野地区に完成した旧庁舎。飯樋地区には支所が置かれました。



不詳

中央近くの赤い屋根が旧庁舎。現在は飯館村商工会商工会館が建つ場所です。

昭和31年に飯曾村・大館村が合併して誕生した飯館村。昭和35年に完成した役場庁舎は、現在の庁舎に移転するまで使用されました(現庁舎での業務開始は平成6年1月)。現庁舎の建設は、センター地区の開発と同時に進められました。鉄筋コンクリート造の2階建てで、随所に村特産のみかげ石が使用されています。前庭も公園のような設えで、数年をかけて植栽や石彫が配置されました。そして平成23年3月の東日本大震災の折には、刻々と変わる状況の中、被災・避難の手続きや対応の会議などで、大勢の村民が庁舎に集まりました。同4月には全村が計画的避難区域に指定され、村民の避難を進めた後に、役場機能も移転。同6月、福島市に飯野出張所(後に飯野支所)を開設し、村民との懇談や、復興計画の策定などを続けました。平成26年4月には役場機能の一部を本庁に戻し、平成28年7月に帰庁。今年の7月は、帰庁から丸10年の節目となります。

ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

おすすめ図書を紹介し、本を読んだことがない32歳からはじめて本を読む



かまど 著
みくのしん 著
大和書房

32歳までまともに本を読んだことがない男性が、読書家の友人と一緒に『走れメロス』などの名作を一行ずつ音読していく読書ドキュメンタリー。文字を追うたびに一喜一憂し、物語の世界へ全力で飛び込んでいく姿は、忘れていた「本を読む純粹な楽しさ」を思い出させてくれます。

イン・ザ・メガチャーチ



朝井リョウ 著
日本経済新聞出版

朝井リョウ氏の2026年本屋大賞受賞作『イン・ザ・メガチャーチ』が話題です。アイドル応援文化の光と影を描き、SNS社会の危うさを鋭く突いた本作。「自分の頭で考えること」の重要性を問いかける、現代人必読の傑作です。

話題の本も置いています 問 交流センター「ふれ愛館」 ☎0244-42-0072